

知事コメント

令和3年2月1日(月)

- 1 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、沖縄県独自の緊急事態宣言を発出して2週間が経過しようとしています。多くの県民の皆さま、事業者の皆さまがご協力いただいていることに感謝申し上げます。
- 2 しかしながら、先週1週間には536人もの新規感染者が確認され、10万人あたりに換算すると36.79人となり、全国ワースト2位となっております。年末年始や成人式を含む3連休中の会合・会食の場面で広がった感染が、医療機関や福祉施設に波及して集団感染が発生している状況です。コロナ病床の占有率は88.0%、コロナ以外の一般病床利用率についても、92.3%となるなど、医療の現場では、まさに恐れていたことが起きています。
- 3 特に、宮古島では、爆発的な感染拡大が起きており、基幹病院である宮古病院では、一般外来が閉鎖されるという、非常事態となっております。県としましては、宮古島の医療を守るため、
看護師については、
県立病院から14名、県立病院以外の医療機関から11名、
陸上自衛隊から5名、NPO法人ジャパンハートから1名、
福祉施設から3名、県庁職員と那覇検疫所から1名ずつ、
予定を含めて合計36名の看護師を派遣しています。

また、県立病院や保健所及び宮古島市から医師や保健師を派遣しているほか、厚生労働省のクラスター対策班や地域支援DMATが支援に駆けつけていただいております。各関係機関の協力を得て、合計63名の医療従事者等を派遣するとともに、新たに宿泊療養ホテルを開設するなど、総力を挙げて支援に努めているところです。ご協力いただいている各機関には心から感謝申し上げます。

- 4 本県の緊急事態宣言期間は2月7日までとなっておりますが、県内における感染状況には予断を許さない状況が続いていることから、政府との調整を続けるとともに、県内経済関係団体等との意見交換を踏まえ、2月4日頃には方針を決定し、発表する予定です。

- 5 現在、本県では緊急事態宣言下の対策として、政府または地域独自の緊急事態宣言が発出されている地域との往来について、自粛をお願いしております。また、来訪される場合には、事前のPCR検査をお願いしておりますが、特別な事情等により渡航前に検査が受けられない方に対して、今般、那覇空港到着時にPCR検査を受けられる体制、「NAPP(Naha Airport PCRtest Project)」を整備しました。
- 6 対象者は国または地域独自の緊急事態宣言が発出されている地域からの沖縄県民を含めた渡航者で、PCR検査を受ける希望者の事前申し込みを前提とし、本日2月1日から事前受付を開始し、2月3日から検査を実施いたします。
- 7 検査を実施する期間は3月末までを予定しており、運営が安定するまで当面の間は100件程度でスタートし、その後、1日200件程度に引き上げることを想定しています。
- 8 検査費用や申し込みの方法等については、沖縄県観光振興課のホームページや沖縄観光コンベンションビューロー等のホームページをご確認いただきますよう、お願いします。
- 9 沖縄県内の感染拡大をしっかり抑え込むことができれば、今回整備した水際対策により、ウイルスの侵入を防ぎ、医療への負担を軽減することができるとともに、県民経済の着実な回復に繋げていくことができるものと考えております。

そのため、県では、県民が誰でも安価で迅速にPCR検査が受けられる環境の整備に向け準備を進めております。

県民皆さまにおかれましては、引き続き、緊急事態宣言の時短要請や外出自粛などについて、皆さまのご協力を賜りますよう、心からよろしくお願いいたします。